



# 犯罪と福祉支援

地域生活定着促進事業5年間の報告

# 地域生活定着支援センターのできた背景

## ➡ 刑務所内の高齢化


養護工場 様々な疾病への対応 入院者の増加

## ➡ 障がい者比率の高さ

見過ごされた知的障害 刑務所内での「治療」は？

## ➡ 再犯率の高さ

帰る家がない 福祉につながらない 生活スキルのなさ



# 問われる福祉支援

## ■ 福祉が行き届かない


自己責任論、待ちの行政姿勢、福祉へのアクセスの悪さ

## ■ 福祉支援のスキルの問題

社会的排除、犯罪、福祉支援を求めない要支援者へのスキルが乏しい

## ■ 福祉の排除性と限定性

対象の限定、「福祉」の枠組みの強制



# 地域生活定着支援センターの業務内容

## ■ コーディネート

矯正施設にいる時から支援し、帰住先を確保する（特別調整対象者）

## ■ フォローアップ

コーディネートして地域に帰住した人を支援する

## ■ 相談

矯正施設をでた障害者等やその家族からの相談、矯正施設には至らなかったが帰るところのなくなった罪を犯した障がい者等に関する相談・・・

# 地域生活定着支援センターの支援内容

## ➡ 衣食住の確保

食べていけない

→物質的な生活確保 最低限の生活保障

## ➡ 生活支援

生活技術がない

→生活スキルの向上と生活への支援

## ➡ 不適切な行動の修正

犯罪を犯してしまう

→行動の規制が効く

# 矯正施設からの地域移行の特徴

## ■ 社会不適合期間の長さ

長い社会的不適合 + 刑務所暮らし

## ■ 矯正施設内での目標と福祉支援の目標との齟齬

保安維持と自立支援

## ■ 段階的な移行はない

刑期は決まっている 拘束から「自由」へ



# 地域移行の困難さ

## ➡ 援護の実施者問題

福祉は市町村の実施 市町村への所属のあいまいさ

## ➡ 福祉施設等の受け入れの困難さ

困難の回避 福祉サービスの提供と福祉支援

## ➡ 福祉が提供する生活のハードル

集団生活への適応とは 福祉サービスの提供では

## ➡ 社会生活経験の乏しさ

社会化されていない個人

## ➡ 認知の課題

罪を罪として理解できない



# 支援の重点

## ➡ 関係性の形成

支援と被支援の関係とは？ 面談の在り方は

## ➡ 主体性の重視

他者とは操縦不可能な存在 主体への働きかけ

## ➡ 支援ネットワーク

多様な支援を要する 共通理解の形成

## ➡ 普遍課題への昇華

特殊な人の特殊な問題ではない 普遍的課題が見えてくる



## 5年間の支援実績

	特別調整			一般調整	相談	フォローアップ
	県内帰住	県外帰住	辞退等			
平成22年度	4	3	0	1	3	4
平成23年度	8	2	1	4	2	16
平成24年度	9	4	1	3	9	27
平成25年度	9	0	0	1	6	29
平成26年度	17	1	3	0	12	35

(26年度は1月末現在)

# 事例から見る地域生活定着促進事業 1

## ■ 地域ぐるみの支援で安定した生活

「獄死はいやだ」と支援を受諾。路上生活から万引きを重ねていたが、地域社協などの尽力で市営住宅入居。再犯はあったが、地域支援の実情から釈放、以後全く安定。「立派な市民」といわれる。

## ■ 年金を詐取された知的障がい者の民事訴訟支援

賽銭窃盗を繰り返す。年金は知人に管理され、ほとんどつかわれていた。自らは路上生活。刑務所にきてからの分も全部引き出されていた。施設生活を送りながら民事裁判中。地域生活への移行予定。

## ■ 高校進学で安定した成長を見せた少年

軽度知的障がい、県外出身でもあったことから帰住に難航したが、未成年後見や福祉施策および高校進学を果たした。ずっとフォローして、成長した。

# 事例から見る地域生活定着促進事業 2

## ■ 神経症と診断され窃盗を繰り返していた

離婚等多くの問題を抱えて、神経症で治療中だった女性。癖のように毎日万引き。刑務所暮らしは大変だった。帰住に際して、アパート、通院先等を確認。以後、フォローし、再犯なく安定している。

## ■ 自己流の生活にこだわる自閉症と中度の知的障害

自己流の生活にこだわる。商品の換金詐欺により数回刑務所。施設生活をしながら観察中に再度犯罪。無事釈放になり施設生活継続。素直で律儀な性格だが独特の生活流儀にこだわり、完全な地域生活を目指した。



次ページの事例

# 支援における関係形成の重要性

- 面談の重視、愛着の形成、共感と統制
- 自閉症障害者の地域移行の例

自閉症の特性⇒愛着の形成⇒居場所の形成⇒行動統制と自己流の生活⇒人間交流の不全感と克服⇒自由と統制⇒完全地域生活の在り方とは

- 定着支援からみるケースワーク

キーワーカーの重要性、ネットワークの落とし穴、コミュニケーションの複雑さ、長期のスパンで効果を